

財務管理方針

1) 基本方針

当社グループの長期にわたる持続的成長の実現を可能にするための戦略的投資と株主に対する、長期的・安定的かつ適正な利益還元を行いながら、健全で強固な財務基盤を確立する。

2) 株主還元

株主に対する利益還元を経営の最重要政策のひとつと位置づけ、企業体質の強化および将来の事業展開に備えるための内部留保に努めつつ、業績に見合った安定的かつ適正な配当の継続を利益配分の基本とする。

また、資本効率の向上、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を目的とし、自己株式の取得を適宜実施する。

3) 投資判断

当社グループの持続的成長の実現に必要な戦略的投資は、計画立案にあたり、ディスカウント・キャッシュフロー法などにより、将来のキャッシュフローや資本コストを考慮のうえ決定する。

4) 資金調達

戦略的投資に必要な資金は、事業が生み出す営業キャッシュ・フローおよび手許流動性資金で賄うことを基本とし、それを超える投資規模の場合には、負債・資本比率のバランスに配慮しつつ、金融市場または資本市場から調達することも選択肢の一つとし、成長への機会損失とならないよう堅実かつ柔軟な資金調達を行う。

5) 資金運用

資金は、急激な事業環境の変化、不測の事態、戦略的投資に機動的に対応できる流動性を備えておくことを基本とする。運用においては、定期預金のほか、元本損失リスクの低い債券などの安全資産とし、バランスのとれた運用に努める。

6) キャッシュ・フロー

営業利益の増大および利益率の向上と運転資本の削減によるキャッシュの創出に取り組む。特に、売掛債権・棚卸資産については、適正水準を考慮しながら手持日数の短縮に努める。

7) リスクマネジメント

グループ内の資産の保全および資産運用の効率化を図ると同時に、金利・為替などの変動リスクの適切なコントロールの強化に努める。